

は1・5%増の728億円
だった。

円、宅配が0・6%増の1519億円。宅配のうち個配は1・7%増の1201億円だった。店舗、宅配ともに、引続きコメの単価高が影響した。

【百貨店】

百貨店(日本百貨店協会、70社・178店舗)の売上高は4232億円。既存店で前年を4・5%下回った。食料品は、1・0%増の961億円。生鮮食品は1・8%減、総菜は0・7%減。価格高騰の影響は継続しているものの、手土産需要が増加した菓子や、物産展などの催事は好調だった。

【食品スーパー】

食品スーパー(全国スーパーマーケット協会など3団体、270社・8391店舗)の売上高は1兆668億円、既存店で前年を3・7%上回った。生鮮3部門の合計は1・6%増、うち青果は2・7%増。総菜は3・9%増加した。地区別では全エリアで前年を上回った。

【コンビニ】

コンビニ(日本フランチャイズチェーン協会、7社)の売上高は9762億円。既存店で前年を2・0%上回った。春の行楽需要等により、おにぎり、カウンター商材、菓子、ソフトドリンクが好調に推移した。来店客数は0・5%増の12億8799万人、平均客単価

小売業界4月の売上高

スーパーなどで前年比増

青果は相場に落ち着きみられる

小売の業界団体は4月の売上高を発表した。

【スーパー】

スーパー(日本チェーンストア協会、46社926店舗)の売上高は1兆334億円、既存店で前年を3・4%上回った。食料品は、6・4%増の7274億円。購入

点数の減少傾向が続く中、農産品の相場に少し落ち着きは見られるものの、店頭価格上昇の影響などもあり売上げは伸ばした。うち農産品は3・5%増、総菜は4・5%増。

【生協】

日本生活協同組合連合会(全国59主要地域生協)の供給高(売上高)は2352億円、前年より1・7%増加した。業態別では店舗が前年比3・7%増の784億

野菜は、ジャガイモ、タマネギ、ニンジン、レ